

問一

次の故事成語の意味として当てはまるものを下の□に書きましよう。

から選び、記号を

① 螢雪の功 けいせつ こう

イ

② 杞憂 きゆう きゆう

ウ

③ 漁夫の利 ぎよふ り

エ

④ 破竹の勢い はちく いきお

ア

①は「螢（ほたる）の光や窓の外の雪明かりで勉強した」ということを表しているよ「螢の光」という歌の歌詞に出てくるね。

ア 勢いが激しく、とどめることができないこと。

イ 苦勞して勉學に取り組んだ成果のこと。

ウ 必要のない心配をすること。取りこし苦勞のこと。

エ お互いに争っている間に、他者が利益を横取りすること。

オ 人から何度も聞くより、一度でも自分の目で見ることが確かだということ。



問二

次の慣用句の意味として当てはまるものを下の□に書きましよう。

から選び、記号を

① 鼻にかける

オ

② 気が置けない (の)

カ

③ 高嶺の花 たかね

ウ

④ 水に流す

キ

⑤ 百も承知 しやうち

エ

⑥ 手のひらを返す

ア

ア それまでの態度や言葉を急に変えること。

イ 相手の言葉や行動が気になり、油断できないこと。

ウ いくら望んでも、手の届かないもの。

エ 物事などについて、十分に分かっていること。

オ 自分の優れていることを、自慢すること。

カ 相手に遠慮したり気遣いしたりする必要がなく

親しく付き合えること。

「気が(の)置けない」という慣用句は、仲が良い関係という意味の表現だよ。



キ 過去のいざこざや、もめごとを、すべて無かったこと

にすること。